



頻発する密漁を防止するため、取り締まりと罰則の強化が望まれます（大沢浜川目から明神崎を望む山田湾）



生駒利治議員

密漁対策

アワビ密漁の防止対策

取り締まり機関との連携を密に

質問

最近の新聞、ニュースなどで、アワビ密漁の記事が目につく。特に本町関連の密漁記事が二件あったと記憶している。誠に憂慮すべき状況である。

漁協などに呼びかけ、官民一体となった密漁防止対策を早急に検討すべきではないか。

沼崎町長

アワビ密漁が、漁協の監視や県の取り締まりにも関わらず頻発しており、山田町民からも逮捕者が出るなど、深刻な状況となっている。宮城県、青森県などからのトラックと船を用いた犯行は、装備が高度化して常習的であり、関係者は対応に苦慮している。県漁連は、漁業調整規則違反の罰則が懲役六か月以下、罰金が十万円以下と軽いことから、国・県に対して罰則の強化を要望しているが、進展していない。

今後については、関係団体と連携を密にして、全国

町の考えを聞く

水産行政

カキ殻リサイクル施設の予定 大沢漁協で実現に向け検討中

質問

町内の漁協と民間業者が、それぞれカキ殻及びそれらの付着物などを対象とした「リサイクル施設」を検討していると聞いていますが、その進捗状況はどうなっているか。また、その実現に向けてどのような支援を考えているか。

沼崎町長

現在、大沢漁協がカキ殻及び付着物のリサイクル施設の整備を計画している。その内容は、一日五ト未満の処理量で、堆

一のアワビ漁獲県である岩手の漁民をバックに、県漁業調整規則違反の罰則強化

を実現するため漁業法の改正を目指し、さらに要望を続けていきたい。

肥化により特殊肥料を製造するものである。現在、具体化に向けて県の指導を受けながら検討を重ねており、積極的に支援していきたい。

また、民間会社が計画しているカキ殻のリサイクル施設は、カキ殻に熱を加え、炭酸カルシウムの粉末を製造する計画であり、現在、所管する県の関係部署に相談している段階と聞いている。